

令和6年度東京都MICE連携推進協議会（第2回）開催概要

日 時 令和7年3月5日（水曜日）14:30～16:30

場 所 ビジョンセンター西新宿 301 及びオンラインによるハイブリッド開催

出席者 令和6年度東京都MICE連携推進協議会 委員 17 名

協議内容

- ・観光庁からの報告
- ・各部会からの報告（サステナビリティ・魅力発信・拠点・次世代型 MICE の 4 部会）
- ・東京都からの報告
- ・各委員からの報告

開催概要

第2回の協議会では、観光庁から来年度の MICE 関連予算・施策等の概要についてご説明をいただいた。今年度開催された各部会からの報告に続き、東京都から来年度の MICE 誘致施策について、また各委員からは来年度の取組についてご報告をいただいた。

委員からの主な意見（要旨）

●各部長より

○次世代型 MICE 部会：テクノロジーの進化は MICE 業界における業務効率化を促進し、新たな可能性を生み出すが、一方でテクノロジーの最大限の活用には、MICE 業界における人材育成が不可欠であり、人間の創造性とテクノロジーの融合により、MICE はより革新的なイベントへと発展すると考えられる。

○魅力発信部会：海外との競争力強化には、より効果的で、かつ戦略的な情報発信を行っていくことが必要であり、利用者ニーズを的確に分析し、単なる情報発信ではなく、量より質へ、選択と集中を図った質の高いコンテンツが重要。

○サステナビリティ部会：中小企業等の事業者は、サステナビリティな取組やその浸透がまだまだ難しいため、トップランナーの推進を図ることも業界の役割であり、主催者からの方針やメッセージの発信により、業界全体が動きだすことが非常に大事。

○拠点部会：今後の MICE の誘致・開催には、ユニークベニューの活用による参加者満足度の向上と、都内 MICE 拠点の相互理解の推進と連携、協働が重要であり、主催者にとってこれらを踏まえた多様な提案がなされることが重要。

●各委員より

○まだまだインバウンド拡大が見込まれるが、十分な人材確保が困難となっており、デジタル化や人材育成の推進等、課題解決に向けた MICE 業界内での早急な対応が必要。

○会場やホテルの確保が課題となっているため、客船に一泊するなど、工夫した新たなコースの検討も必要。

○サステナビリティは依然重要課題の一つであり、持続可能なイベント開催の促進・拡大に向けた業界内での取組が必要で、活用にはサステナビリティを可視化することの検討も必

要。

○MICE の開催は、施設等の単独で行うのではなく、地域との連携、MICE 業界内での情報共有をしつつ連携を進め展開していく必要があるが、情報の集約・共有方法を業界として考える必要がある。

以上